

平成26年度 学習指導改善調査 第6学年算数【採点基準】

※ _____部が正答に必要なキーワード。

以下のキーワード，または，同様の意味のキーワードが必要。このキーワードをもとに，筋道立てて論述できていれば正答とする。

1 6年「分数のたし算」

小問番号	採点基準
1-① 分数の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。 ・ 分母を12で通分していなくてもよいが，答えが約分してあること。
1-② 分母・分子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。(完答)
1-③ 分母・分子に入る数字	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。(完答) ・ アイに入る2と3，ウエに入る5と7がそれぞれ逆でも正答。
1-④ 式1と答え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。(式と答えの両方で正答) ・ 1-④と1-⑤が逆でも正答。
1-⑤ 式2と答え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。(式と答えの両方で正答) ・ 1-⑤と1-④が逆でも正答。
1-⑥ 大きくなる式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。
1-⑦ 分母・分子に入る数字	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2と4が逆でも正答。
1-⑧ 式1と答え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。(式と答えの両方で正答) ・ 1-⑧と1-⑨が逆でも正答。
1-⑨ 式2と答え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。(式と答えの両方で正答) ・ 1-⑨と1-⑧が逆でも正答。
1-⑩ 大きくなる式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解答例のとおり。

2 6年「割合」

小問番号		採点基準
2-① 500円引きの代金		・解答例のとおり。
2-② 2400円の20%を 求める式		・解答例のとおり。
2-③ 2400×0.2の答え		・解答例のとおり。
2-④ 20%引きの代金を 求める式		・解答例のとおり。 ・2400×0.8は不可。
2-⑤ 20%引きの代金		・解答例のとおり。
2-⑥ 安く買えるサービス券		・解答例のとおり。
2-④⑤⑥ 定価が2500円であることの説明	2-⑦	・500円と定価の20%分の金額が等しいことが記述されている。 (解答文の途中に記述されていてもよい。)
	2-⑧	(i) 定価×0.2=500 定価=500÷0.2=2500 (ii) 定価の10%分は 500÷2=250 で 250円です。 定価は100%分だから、250×10=2500 (iii) 代金は定価の80%分で、20%の4倍になります。 500×4=2000 500円を引いた金額が2000円だから、2000+500=2500 (iv) 定価は100%分だから、100÷20=5 で、20%分の5倍が定価になります。500円の5倍だから、500×5=2500 ※(i)～(iv)のいずれの解法でもよい。 ※同義の説明であれば正答とする。 ※「定価」の代わりに□などの記号を使って立式、説明していても可。
	2-⑨	・定価が2500円であることが記述されている。